

患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2018.5.1 May vol.148

発行：医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集：はつらつ通信局



リハビリの技術を看護にも



全職員対象にリハビリテーション科の呼吸リハビリ勉強会を行いました！

2月22日(木)、3月8日(木)の2日間、全職員対象に自由参加でリハビリテーション科の呼吸リハビリテーションに関する勉強会を開催しました。目的は、呼吸合併症の予防に向けて、日々の生活の中でできる体交の深さや頻度などの知識共有を病棟と図るため、また病棟側からも夜間帯や土・日曜といったリハビリスタッフの休日にSpO₂(経皮的動脈血酸素飽和度)などが低下した場合の対応について相談を受けていたことから、勉強の機会を設けることになりました。

1日目は呼吸リハビリの概論を座学で、2日目はスクイーミングという排痰の手技を実践的に学びました。看護部からは30名ほどの参加があり、「こんなに来てくれるとは思ってなくてびっくりしました」と講師役を務めた菅原俊理学療法士。「予防のためのリハビリテーションが注目される現在、肺炎になってからの集中的なリハビリから、日々の生活の中で適切なポジションを取る予防的リハビリへ、看護師さんと意識共有を図る機会になりました」と語ります。リハビリの専門知識の共有で、看護師の呼吸療法認定士の資格取得にも弾みがつきそうです。



病棟紹介 PART 2 3病棟

透析の患者さま中心の一般病棟

看護の質を高める多様な取り組み

同フロアに透析室があり、透析患者さま最多の3病棟
リハビリスタッフ常駐のモデル病棟として連携を試行中

作)を上げていこうと取り組んで
いるので、ちょっとの移動も訓練
になるようにしています」と岩井
師長は説明します。

知症で夜間に不穏が強くなる
方や、ベッド柵を持ち上げて外
してしまふ方などは、低床ベッド
でもケガや骨折の可能性があり
ます。センサーマットを敷くなど
の対応策を講じた結果、転倒や
転落のない状態が数カ月続いて
います。



岩井節子師長

病棟ごとに異なる 必要とされる看護

ご自身で食事が摂れる方や、
歩行器や介助があれば歩いて移
動できる方の多い病棟ですが、
「看護の必要度は決して低くは
ありません」と岩井師長。軽い認

また、トイレコールを中心とし
たナースコールが多いのも3病棟
の特徴。トイレに介助なしで行け
る方は一人だけなので、トイレ
コールが集中する朝はトイレに行
列ができるほど混み合います。
3病棟ではトイレや透析室、
リハビリ室への移動もリハビリ
テーションの一環と捉え、人員の
確保できる日中はできる限り患
者さまに動いてもらうようにし
ています。「ADL(日常生活活動



透析室と地域連携部のスタッフと打ち合わせ

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

効率的なシステム 常駐のリハビリ スタッフ

現在、3病棟にはリハビリス
タッフの作業療法士1名が常駐
しています。これはリハビリ科が
今年2月から3病棟で行ってい
る試験的なシステムで、患者さ
まが透析室や階下のリハビリ室
へ行くときなどに同行して歩行
状態を見たり、看護師の相談や
質問に応じています。



リハビリスタッフが病棟に常駐

できる人がいつでも病棟にいるの
です。すぐ助かっています」と岩
井師長はにっこり。リハビリ科は
3病棟での試験運用でスムーズ
にいかない部分の洗い出しと修正
を行い、リハビリスタッフ全病棟配
置の可能性を検討しています。



患者さまの肩の良肢位を保つため腕を固定するバンドを巻く

リハビリの担当者は患者さま一
人ひとりで異なるため、病棟で
リハビリに関する相談をしたいと
きは、担当者は誰か調べる必要
がありました。現在は病棟のリハ
ビリスタッフがりハビリ科の代表
窓口となり、科内で担当者に確
認し回答を病棟に伝達。「相談



移動中の患者さまにリハビリスタッフが付き添い、歩行の状態を確認

理事長の指揮の下で 新しい取り組み

そのほかにも透析患者さまに
対する新しい取り組みとして、透
析の針による痛みを和らげるク
リーム状の塗る局所麻酔剤の使
用を試みており勉強会も行いま
した。現在3名の患者さまがご使
用中で、個人差はありますがほと
んどの場合で痛みが軽減されたと
の高評価をいただいています。



朝、多職種での病棟カンファレンス

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を
果たすうえで、「安心・信頼・満足」を
目指し、よりよい医療サービス実践
のため日々研鑽します。

基本方針

- 一. 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二. 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三. 職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四. 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

デイケアに新しい行事食メニューが登場 食欲そそる炙りチャーシュー



香ばしい匂いと できたての味を提供

デイケアの昼食では、定期的
に普段と趣の違う行事食をお
出ししています。3月14日(水)
に初お目見えしたのは、焼肉の
香ばしさが食欲をそそる炙り
チャーシュー。ご利用者さまの
目の前で切り分けた煮豚を
バーナーで炙って、ラーメンに
トッピングしました。

ラーメン自体もできたての味
を提供できるように、デイケア
室に鍋と電気調理器を持ち込
み、その場でゆでた麺を入れた
丼にアツアツのスープを注ぎ、
麺をほぐして提供。味わいはも
ちろん、臨場感のある調理の



音、食材の匂い、盛り付け、歯ご
たえや食感と、五感を刺激す
るパフオーマンスが大変喜ばれ、
炙りチャーシューは今後、全
ての曜日で実施できるよう改善
していく予定です。



おいしい食事に 楽しさもプラス

新メニューの開発にあたって
は、当院の調理師が関連グ
ループ調理師の元ラーメン店
店長から調理法を教わり、成
形しやすく切り分けても形
が壊れない方法を検討しまし
た。前日の作り置きではなく、

衛生的な当日調理ができるよ
う手順を工夫し、「肉の部位や
縛り方などを変えて3回くら
い試作してもらいました。」と、
大島美奈子管理栄養士は振
り返ります。



大島美奈子管理栄養士

苦勞のかいあって、高い評価
を得た炙りチャーシュー。今後
はより効率的な作業分担とス
ムーズな配膳を目指して、新メ
ニューに磨きをかけていく予定
です。

季節感のある手作りの箸袋。
クイズ形式のカードは、
食事に添えて脳トレに活用。



札幌ライラック病院は、
機能強化型 在宅療養支援病院です。

機能強化型在宅療養支援病院とは、
下記の要件を満たした病院です。

- ・3名以上の医師が在宅訪問診療に配置
- ・緊急での往診実績が年間10件以上
- ・看取り実績が年間4件以上



送迎付き 企業健康診断

当院では、企業が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、
一般の健診とは別体系の料金を設定しています。
無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

例) 基本健診(聴力・視力・尿・貧血・脂質・血糖・肝機能・
胸部X線の各検査、身体測定、問診)

企業料金 **4,000円**



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822

診療時間 [平日] 9:00~12:30
13:30~17:00
[土曜] 9:00~12:00

面会時間 [平日] 14:00~20:00
[土日祝] 12:00~20:00

URL <http://www.lilac.or.jp>



「はつらつ通信」へのご意見・ご感想をお待ちしています。

TEL:011-812-8822

E-mail: ooba-h@lilac.or.jp (編集委員:大場・佐藤)